

エムラクリームを ご使用の患者さんへ



<はじめに>

この冊子はエムラクリームを安全に使用していただき、適切な麻酔効果を得るために必要な情報をまとめたものです。

エムラクリームを使用する前によくお読みいただき、書かれていることが理解できない、不安に感じたことがある場合は医師または薬剤師にご相談ください。

エムラクリームについて

エムラクリームは皮膚レーザー照射予定部位や注射予定部位に塗布し、ラップなどで密封することで麻酔効果が得られ、治療や処置の痛みをやわげる薬剤です。



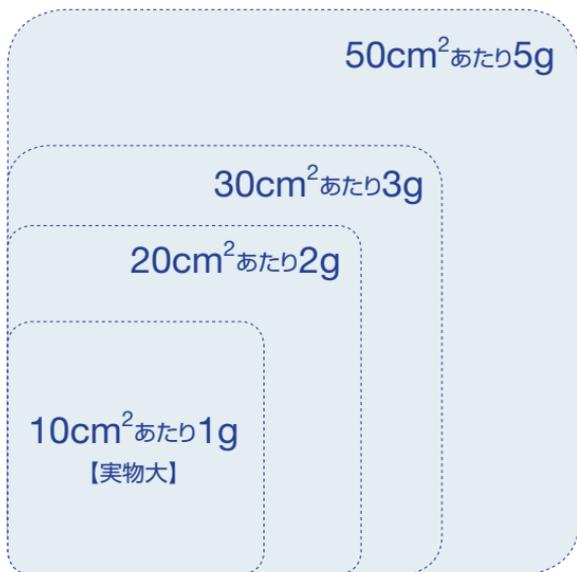
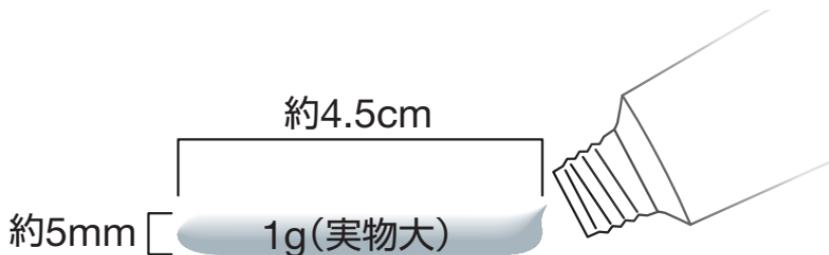
エムラクリームを塗布する前に

エムラクリームの塗布に際しては、以下の事項をお守りください。

1. 必ず医師に指示された場所に塗布してください。
2. 傷ややけどをしている場所には塗らないでください。
3. 性器皮膚及び粘膜には使用しないでください。
4. 眼や耳に入らないようにご注意ください。
5. 注射針をさす場合は、エムラクリームを皮膚から拭き取った後、針を刺す部位をアルコール綿などで消毒してから注射してください。

エムラクリームの塗布面積と塗布量の目安

<1gの目安>チューブから約4.5cm出した量が1gの目安です。



※100cm²の場合は10g

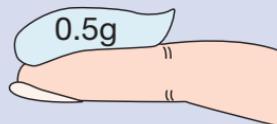
エムラクリームの塗り方



10cm²あたり1gを塗布



<使用量の目安>

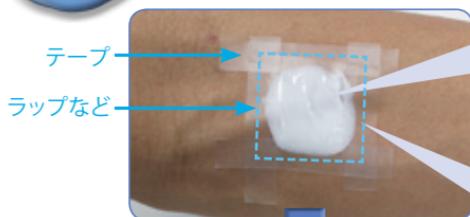


大人の人差し指の先から、第一関節まで出した量が約0.5gです。

※ クリームは擦り込まずに厚く盛るように塗布してください。



2 ラップなどで覆い、60分間密封状態を保つ



皮膚の色が透けて見えないくらいの厚さになっていることを確認します。

クリームがにじみ出ないように周りをテープで固定します。



時間が経つと、徐々にクリームが減っていきます。

3

ラップなどを除去する



4

残ったクリームをふき取る



ティッシュやガーゼなどを用いてふき取ります。

<補足>

注射の場合はアルコール綿などで消毒してから処置を行います。

※ お子様に塗布する場合は、年齢・体重によって最大塗布時間が異なります。5ページの注意を必ずお守りください。

お子様に塗布する場合の注意

お子様に塗布する場合は年齢、体重を考慮して必要最小限の量を塗布し、下記の最大塗布量、最大塗布時間を超えないようにご注意ください。

年齢体重を考慮した塗布量、塗布時間の目安

年齢(月齢)	体重	最大塗布量	最大塗布時間
0～2ヶ月	—	1g	60分
3～11ヶ月	5kg以下	1g	60分
	5kg超	2g	60分
1～14歳	5kg以下	1g	60分
	5kg超10kg以下	2g	120分
	10kg超	10g	120分

決められた量よりも多く塗布してしまった、決められた時間よりも長時間塗布してしまった時(過量使用時)はすぐに医師にご相談ください。

エムラクリームの使用時に注意が必要な副作用

塗布している最中や塗布後に、以下のような症状を少しでも感じた場合、エムラクリームの塗布を中止し、塗布したクリームを拭い、直ちに主治医にご連絡ください。

1. 不快感、めまい、息苦しさなど
(ショック・アナフィラキシー症状)
2. 意識の低下、手足のふるえなど
(意識障害、振戦、けいれん)
3. めまい、頭痛、吐気、息苦しさなど
(メトヘモグロビン血症)
4. ねむけ、けいれん、知覚異常、口唇・爪が紫色になる、頭痛など
(中枢神経抑制作用、心機能抑制作用)

エムラクリームの使用時に気をつけること

この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合は医師または薬剤師にご相談ください。

また、次の疾患や症状をお持ちの方は、医師の指示を逸脱して高用量を使用した場合、副作用あるいは原疾患を悪化させる可能性がありますので、医師の指示を必ず守ってご使用ください。

- グルコース-6-リン酸脱水素酵素 (G-6-PD) 欠乏症
- 心臓の刺激伝達障害のある人
- 肝臓又は腎臓に重篤な障害がある人

